

2014年8月4日

NEC ネットズエスアイ株式会社

NECネットズエスアイ、第27回日経ニューオフィス賞を受賞 (4回目の受賞・本社に加え全国6支店で受賞)

～オフィス改革を全国に展開、地域ごとの課題を解決するオフィスづくりに評価～

NEC ネットズエスアイ株式会社(本社:東京都文京区 代表取締役執行役員社長:和田雅夫 東証 1973、NESIC)は、北海道支店(北海道札幌市)、北陸支店(石川県金沢市)、四国支店(香川県高松市)、および九州支店(福岡県福岡市)が第27回日経ニューオフィス賞(注1)奨励賞を受賞いたしました(北海道支店は知事賞、九州支店はクリエイティブ賞もあわせて受賞)。当社の受賞は、2009年の旧品川本社、2011年の飯田橋本社、2013年の中国支店(広島市)および中部支店(名古屋市)の受賞に続くもので、新日本社を含めて8オフィス、4回目の受賞となります。

当社は2007年より、ICTとオフィス空間の融合によって働き方改革を促し、生産性や効率性を高めるオフィス改革ソリューション EmpoweredOffice (注2)を提唱しております。2010年10月には飯田橋本社への移転に合わせてその取組みを本社全体に導入し、自社で率先してオフィス改革を実践しております。2012年からは、このノウハウを日本全国の支社・支店のオフィス改革に展開しており、EmpoweredOfficeの基本理念を軸にしながらも、各地域の市場特性や各支社・支店の特徴などを踏まえ、それぞれが抱える“支社・支店ならではの壁”を取り除くことを共通の課題としてオフィス改革を進めています。また、オフィスには各地域の「らしさ」を活かす工夫など、オフィスづくりに社員自らの創意工夫を取り入れていることも大きな特徴です。このような全国規模での継続的かつ各地域での独自性・自主性を活かしたオフィス改革の取組みが評価され、このたびの受賞となりました。

支社・支店ならではの“壁”

- ① 担当地域の窓口として、地域内や本社との距離を超えた効率的なコミュニケーションが求められる(距離の壁)
- ② 社員数などリソースが限られた中でお客様に対応するため、本社以上にスピーディかつ効率的な働き方が求められる(リソースの壁)
- ③ 会社のさまざまな機能を小規模な組織に集約しているため、それぞれが有機的に機能することが求められる(組織・機能の壁)

今回受賞した4つの支店のオフィス改革の主なポイント・特徴は、以下の通りです(他の支店でも同様のアイデアが採用されているものもあります)。

＜北海道支店＞

改革コンセプト： 情報と行動を共有 (share) しあうオフィス
～距離感を感じさせない EmpoweredOffice の実践。
自分たちが繋がり、もっとお客様と繋がる～

北海道支店プロフィール

- ・所在地：北海道札幌市
- ・機能：北海道全域をカバー
- ・社員数：約 70 人

・L字型のフロアによる制約を利用したレイアウト

⇒L字型の片翼に執務エリアを集約。部門別のレイアウトを廃し、雄大な北海道らしく「大地」「海」にゾーニング。混ざり合うことで部門を越えた連帯感を強化するとともに、個人ワーク、グループワークなど、エリアごとの機能を明確化、仕事に応じて最適な場を選択する働き方を実践

⇒もう片翼をお客様スペースとして活用

- ・レンガを使った北海道らしいウエルカムエリア
- ・タブレットを活用したペーパーレスの応接室
- ・納入前の試験や評価プロセスを見ていただくための現調ルーム など

・セキュリティワークスペースの設置

⇒同じフロアに他のテナントが同居していることを意識し、機密性の高い業務を行う際の専用スペースを確保

主な導入 ICT

- | | | |
|----------------------------|---------------|------------|
| ・会議ソリューション (SmoothMeeting) | ・無人受付システム | ・無線 LAN |
| ・ユニファイドコミュニケーション | ・顔認証ゲートシステム | ・シンクライアント |
| ・TV会議システム | ・ディスプレイ体型テーブル | ・デジタルサイネージ |
| ・音環境改善システム | ・電子ホワイトボード | ・省エネ照明 |

オープンな会議室で机や椅子を自由に組み合わせ議論



中央のマルチモニターはTV会議、資料投影、サイネージなど多機能・多用途に活用

<北陸支店>

改革コンセプト: オフィスをゼロベースで改革し、
活気ある豊かな働き方を実践する
“金沢おもてなしオフィス”

北陸支店プロフィール

- ・所在地: 石川県金沢市
- ・機能: 石川、富山、福井をカバー
- ・社員数: 約 50 人

- ・豊かな働き方を実現するため「か(改革)な(内発)ざ(斬新)わ(輪)」をオフィスのコンセプトとして具現化
- ・管理職をオフィス中央の 5 人席に集約し、そのすぐ隣に部下の席を配置
 - ⇒管理職同士のコミュニケーションを促進するとともに、振り向けばすぐ部下と議論ができるレイアウトで意思疎通を促し、即断即決のスピードマネジメントを促進
 - ⇒有事には災害対策本部として機能
- ・業務内容によって選べるクリエイティブオフィス
 - ⇒討議したり意見をまとめる会議エリア、実践レビューを行う多目的エリア、新たなアイデアを創出するコラボレーションエリアなど機能ごとにエリアを分け、その日の業務に合わせて最適な場を選択する働き方を実践
- ・金沢らしさを活かしたお客様へのおもてなしの工夫
 - ⇒べんがら色の千本格子や輪島塗といった金沢らしさを活かしたエントランスなど、お客様に喜んでいただける工夫

主な導入 ICT

- | | | |
|----------------------------|--------------------|------------|
| ・会議ソリューション (SmoothMeeting) | ・議事録システム | ・無線 LAN |
| ・ユニファイドコミュニケーション | ・セキュアレセプション Navi | ・シンクライアント |
| ・TV会議システム | ・顔認証セキュリティシステム | ・デジタルサイネージ |
| ・LED照明コントローラー | ・電子黒板 (BrainBoard) | ・行先表示システム |



エントランスはべんがら色の千本格子や輪島塗など金沢らしさを感じるデザイン



管理職を中央の 5 人席に集めることで、即断即決のマネジメントを実現

＜四国支店＞

改革コンセプト： ‘個’ と ‘組織(チーム)’ の力を最大限に
引き出し、企業力が向上するオフィス

四国支店プロフィール

- ・所在地：香川県高松市
- ・機能：香川、徳島、高知をカバー
- ・社員数：約 50 人

・固定機の置かれた旧来型の執務エリアをなくし、下記スペースにより“ポリバリエントオフィス”(=多様性のあるオフィス)を構築。生産性の高い多様な働き方を可能に

- 「コラボレーションスペース」～オフィスの中心部分をキャスター付きの可動式テーブルで構成。通常の執務シーンから、中央部にミーティングテーブルを配した情報共有シーン、TV会議を活用したノーディスタンスシーンなど多様な働き方に応じたレイアウトを実現
- 「プロジェクトスペース」～四国内の移動を考慮し、iPad で全国のプロジェクト現場の映像を見ながら意思決定する会議を実現
- 「シェルミーティングスペース」～隔離されたスペースで集中した会議を実現
- 「コンセントレーションスペース」～利用者が個人業務に集中するため自由にアレンジできるスペース
- 「タッチダウンスペース」～他拠点からの出張者の作業や打合せなどに活用
- 「キッキングスペース」～納入前の評価プロセスを見える化 など

・四国らしいミーティングスペース

⇒オリーブ色の香川(さぬき)、みかん色の愛媛(いよ)など四国らしさを取り入れ、楽しみながら議論を活性化

主な導入 ICT

- | | | |
|-----------------------------|-------------------|-------------|
| ・ 会議ソリューション (SmoothMeeting) | ・ フィンガージェスチャー | ・ 無線 LAN |
| ・ 電子黒板 (BrainBoard) | ・ バイオ認証 (生体認証) | ・ シンクライアント |
| ・ TV 会議システム | ・ ワイヤレス投影 (WIVIA) | ・ デジタルサイネージ |
| ・ IC カード認証 | ・ IP カメラ | ・ 省エネ照明 |



全国のプロジェクト現場とつながる「プロジェクトスペース」でノーディスタンスを実践。



可動式テーブルを自由に組み合わせることができる「コラボレーションスペース」。写真は中央部にミーティングテーブルを配した情報共有シーン。

＜九州支店＞

改革コンセプト：「個」を強くする 即断即決型オフィス
～個人やグループが目標達成のために
自律的に行動するオフィス～

九州支店プロフィール

- ・所在地：福岡県福岡市
- ・機能：九州7県をカバー
- ・社員数：約70人

- ・大型モニターにより常時支社内の支店と接続
⇒同じ支社内でありながら海に隔たれた中国支店、四国支店とつなぐことで、離れた場所と距離を感じさせない働き方を実現
- ・支店長を含めた管理職のひな壇を廃止し、完全フリーアドレスを導入
⇒自ら情報を取りに行くスタイルでマネジメントのスピードアップを実現
- ・オフィス中央に多用途に活用できる「エンパワーメントエリア」を設置
⇒執務スペースや会議スペースとは別に、その中間的なスペースとして可動式のテーブルを自由に組み合わせられるエリアを用意。個人で集中したりチームワーキングを高めるためのコミュニケーションをとるなど、社員の自律的な働き方を促進
- ・福岡らしさを意識した、やる気のわくデザイン
⇒オフィスの色調やサインボードなどに博多織を採用。また、パントリーは屋台をイメージしたデザインにするなど、福岡ならではの工夫

主な導入 ICT

- | | | |
|----------------------------|--------------------|---------------|
| ・会議ソリューション (SmoothMeeting) | ・セキュアレセプション Navi | ・無線 LAN |
| ・フェイスアップテーブル | ・顔認証ゲートシステム | ・シンクライアント |
| ・TV会議システム | ・ユニファイドコミュニケーション | ・デジタルサイネージ |
| ・ICカード認証型複合機 | ・電子黒板 (BrainBoard) | ・LED照明コントローラー |



マルチモニターで中国・四国支店と常時接続し、朝礼・夕礼にも参加。



オフィス中央の「エンパワーメントエリア」は、可動式のテーブルを自由に組み合わせることで多用途に活用できる。

以上

※注1 日経ニューオフィス賞について

<http://www.nopa.or.jp/prize/index.html> (一般社団法人ニューオフィス推進協会ホームページ)

※注2 オフィス改革ソリューション EmpoweredOffice について

<http://www.nesic.co.jp/solution/eo/index.html> (当社ホームページ)

明日のコミュニケーションをデザインする

NEC ネットエスアイは、
お客様の目線に立ったこれからのコミュニケーションをデザインする会社として
お客様の価値向上に取り組んでまいります。

<本件に関するお客様からのお問い合わせ先>

NEC ネットエスアイ 企業ソリューション事業本部

エンパワードオフィス販売推進本部

電話: (03)6699-7502

E-Mail: si-cafe@dm.nesic.com